

**平成 21 年度当初予算 重点的な取組別概要**  
**< 重点事業 >**

**絆 4 : 交流・連携を広げる幹線道路網の整備 (主担当部 : 県土整備部)**

**< 重点事業の目標 >**

御遷宮を契機に訪れる方がさまざまな三重の文化にふれあえるよう高速道路や直轄国道、さらにこれらにアクセスする県管理道路等を道路ネットワークとして整備することにより、道路利用者の利便性が向上し、京都から伊勢までが約 2 時間に短縮されるなど、産業活動や地域資源を生かした文化・観光面での交流・連携がさらに広がり、三重のすばらしさの発信につながります。

また、「新たな命の道」である紀勢自動車道等の整備により東紀州地域の安全・安心の確保にもつながります。

**< 構成事業 (担当部) >**

- ( 1 ) 高速道路に関連する用地取得対策事業 ( 県土整備部 )
- ( 2 ) 高速道路に関連する施設整備事業 ( 県土整備部 )
- ( 3 ) 高速道路網に関連する直轄道路事業 ( 県土整備部 )
- ( 4 ) 直轄道路事業 ( 県土整備部 )
- ( 5 ) 県管理道路事業 ( 県土整備部 )
- ( 6 ) 基幹農道事業 ( 農水商工部 )

**< 重点事業の事業費 >**

( 単位 : 千円 )

		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額	1	14,009,450	15,679,000	18,340,000	19,191,000
予算額等	2	12,951,837	17,358,203 ( 1,772,419 )	( 15,872,030 ) 15,451,230	

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19 年度は決算額、H20 年度は予算現額、H21 年度は当初予算額。20 年度の下段括弧書きは 19 年度からの繰越額で予算現額の内数。H21 年度の上段括弧書きは H20 年度 2 月補正分と H21 年度当初分の合算額

**< 重点事業の数値目標 >** 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
御遷宮に向けた幹線道路の新規供用延長 ( 累計 )	目標値	-	9.7km	27.9km	31.0km	32.1km
	実績値	-	11.7km	24.7km		

県内の幹線道路 ( 高速道路、直轄国道、県管理道路、基幹農道 ) の新規供用延長 ( 累計 )

**< 構成事業の目標 >** 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1)(2)(3)御遷宮に向けた県内の高速道路等の新規供用延長 ( 累計 )	目標値	-	5.0km	18.8km	18.8km	18.8km
	実績値	-	8.3km	18.8km		

(4) 御遷宮に向けた直轄国道の新規供用延長(累計)	目標値	-	2.8km	5.4km	6.4km	7.3km
	実績値	-	2.8km	2.8km		
(5) 御遷宮に向けた県管理道路の新規供用延長(累計)	目標値	-	1.5km	2.0km	2.0km	2.0km
	実績値	-	0.6km	1.6km		
(6) 御遷宮に向けた基幹農道の新規供用延長(累計)	目標値	-	0.4km	1.7km	3.8km	4.0km
	実績値	-	0.0km	1.5km		

#### < 進捗状況(現状と課題) >

- ・ 本県の道路整備は十分とは言えず、計画的に道路整備を推進する必要があります。平成 21 年度からの道路特定財源の一般財源化が閣議決定されるなど、道路財源は不透明な状況にありますが、真に必要な道路整備を推進するためには道路財源の確保が必要です。
- ・ 新名神高速道路、熊野尾鷲道路が一部供用したことにより、広域的な交流の活発化や交通の分散化など整備効果があらわれている一方で、新名神高速道路と接続する東名阪自動車道の渋滞が増加するなどの問題も生じていることから、幹線道路ネットワークを早期に構築していく必要性がますます高くなっています。
- ・ 新名神高速道路、紀勢自動車道、東海環状自動車道の整備促進をはかるため、用地取得の調整を進めるとともに、関連して必要となる河川や砂防施設等の整備を進めています。
- ・ 県内の幹線道路網を形成する直轄国道である熊野尾鷲道路、北勢バイパス、中勢バイパスの整備促進に取り組んでいます。
- ・ 県内道路ネットワークの骨格をなす高速道路や直轄国道へのアクセス道路となる県管理道路等の整備を進めています。

#### < 平成 21 年度の取組方向 >

平成 25 年の神宮式年遷宮を契機とした広域的な交流・連携の促進をはかるため、引き続き新名神高速道路、紀勢自動車道、東海環状自動車道、熊野尾鷲道路、北勢バイパス、中勢バイパスの整備促進および第二伊勢道路の整備推進に取り組めます。

これらの根幹をなす道路にアクセスする県管理道路等の整備推進に取り組めます。

#### < 主な事業 >

高規格幹線道路等用地取得対策費

【基本事業名：55101 高規格道路ネットワークの形成】(事業(1))

(第 8 款 土木費 第 2 項 道路橋りょう費 1 道路橋りょう総務費)

予算額：(20) 1 2 5 , 0 0 0 千円 (21) 1 2 5 , 0 0 0 千円

事業概要： 新名神高速道路や紀勢自動車道等、高規格幹線道路に関連する用地事務を支援し、円滑な事業促進をはかります。

高速道路関連施設整備対策費【基本事業名：55101 高規格道路ネットワークの形成】(事業(2))

(第 8 款 土木費 第 2 項 道路橋りょう費 1 道路橋りょう総務費)

予算額：(20) 6 0 , 0 0 0 千円 (21) 8 0 , 0 0 0 千円

事業概要： 新名神高速道路の整備に関連して必要となる砂防施設を整備します。

直轄道路事業負担金（高規格道路）

【基本事業名：55101 高規格道路ネットワークの形成】（事業(3)）

（第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費 3 道路橋りょう新設改良費）

予算額：(20) 7,050,000千円 (21) 6,200,000千円

(6,620,800千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要： 国が行う道路事業に対して負担金を支出し、高速道路と一体となり広域的な高速道路ネットワークを形成する紀勢自動車道（新直轄区間）や熊野尾鷲道路、東海環状自動車道の整備促進をはかります。

直轄道路事業負担金（幹線道路）【基本事業名：55102 道路ネットワークの形成】（事業(4)）

（第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費 3 道路橋りょう新設改良費）

予算額：(20) 4,000,000千円 (21) 3,935,000千円

事業概要： 国が行う道路事業に対して負担金を支出し、国道1号北勢バイパスや国道23号中勢バイパスの整備促進をはかります。

国補道路改築事業【基本事業名：55102 道路ネットワークの形成】（事業(5)の一部）

（第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費 3 道路橋りょう新設改良費）

予算額：(20) 1,300,000千円 (21) 1,700,000千円

事業概要： 県内道路ネットワークの骨格をなす高速道路及び直轄国道へのアクセス道路となる第二伊勢道路の整備を進めます。

